

# Withコロナ時代の アクセル と ブレーキ

第4回オンライン自分ごと化会議

令和3年10月2日（土）15:00～17:00

～本日の流れ～

- (1) 開会・趣旨説明 (20分)
- (2) 論点について議論 (90分)
- (3) まとめ (10分)

～当日資料等について～

- ・ YouTubeの概要欄に掲載
- ・ 最後にアンケートの回答をお願い

# 本日の論点

- 論点① いわゆる“ワクチンパスポート”の是非
- 論点② 国民目線で見えた日本の医療体制の問題点
- 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

※ 流れによって、上記以外の議論に発展も・・・

事前アンケートから：

問2-5：いわゆる“ワクチンパスポート”を活用すべきだと思いますか？

回答	回答数	割合
活用すべき	51	63.8%
活用すべきでない	28	35.0%
無回答	1	1.3%
合計	80	

## 事前アンケートから：「活用すべき」を選択した主な意見（理由）①

### 安心するための基準

- ワクチン接種が国民に一定の安心感を与えているのは確かなので、経済の活性化を図るのであれば必要。
- 何かしら目に見える明確な証拠がないと人は安心できない。また接種できない人よりはできる人が多い。
- 本人や周りの人、飲食店などお互いにプラスになる目に見えるものがあるとワクチンを打った事を肯定的に捉えられ、安心する。

### ワクチン接種率向上

- 差別に繋がることはあってはならないが、ワクチンを打つインセンティブになるのであれば、積極的に活用すべき。
- 双方の安心感になる。また、ワクチン接種率向上に繋がるのでは。

### 制約のない日常生活・経済活動に向けて

- ワクチン接種したかどうかに関わらず、感染防止対策を徹底することを前提に経済活動を徐々に戻す方がいいと思うが、それは理想論に近そうなので、ワクチン接種を受けた方の経済活動の幅を広げることで、感染拡大防止と経済再開を果たすのが現実的。
- (ワクチン接種を受けていない)少数の人のために、大多数の事業所や個人行動が不利益を被るのはどうかと思う。

## 事前アンケートから：「活用すべき」を選択した主な意見（理由）②

### ワクチン未接種者が 不利益を被らないように

- ワクチン接種ができない理由を記載した別の証明書を作ることで、接種ができない人のための対策をとる。
- ワクチン接種ができないと判断された人々が、ワクチン接種履歴を利用してできる活動と全く同じ活動ができるように何らかの証明を出すべき。
- 自分の考えでワクチン接種を選択しなかった人々については、ワクチン接種履歴がないことで何らかの不利益が発生する状況が起こり得ることを説明。

### 医療体制や治療法など が確立されるまで

- 医療体制の安定や、治療法・特效薬の確立が達成されるまでは、感染を広げるリスクを減らすことを目標として対策を講じることも、ある程度は致し方ないと考えるため。

### その他

- 1つの行動把握に繋がるのではないかと思うため。
- 全てに平等という事は不可能なので、それであれば感染防止に対してやれる事はどんどんやっていくべき。
- 費用対効果。
- 活用はすべきだが安心させすぎではいけない。
- 良い意味でも悪い意味でも当事者意識を引き起こす上で非日常的な思い切った対策は必要。

## 事前アンケートから：「活用すべきではない」を選択した主な意見（理由）

### ワクチンを接種しても感染するリスクがある

- ワクチン接種は、接種した者の感染後の症状緩和が主たる効果であり、感染拡大の抑制についてはその効果をもう少し検証する必要。
- ワクチンを接種しても必ず感染しないというわけではないので、活用しても十分な効果を得ることは難しいと思う。
- ワクチン接種ありきの議論に抵抗を感じる。

### ワクチンを未接種者との間に不公平が生じる

- ワクチン摂取は政府も任意で実施していることから、打つ、打たないは個人の自由としている。しかし、ワクチンパスポートや陰性証明書を準備するとなると打たない（打てない）選択をされた住民は同調圧力を感じてしまうのではないだろうか？
- なりたくてなったわけではない白血病を患ったことのある友人はワクチン接種をすることができません。そういった背景の人がワクチン接種検査パッケージによりまた差別を受ける可能性もある。

### その他

- 陰性証明書は期限もあり、その都度検査費用等も必要となりますし、それを全て住民の負担だとすると出費が大きいし、気楽に飲食店へも行けないのではないか。
- 全世代の接種率が高くなる中での活用は差別に繋がるのではないか。
- ワクチン接種がいきわたるまでの期間限定での活用はあり。
- 治療薬の開発により、拡散はある程度、抑えこめるため。
- 全面的規制解除が前提でありワクチンパッケージはあくまで期間限定先行処置。

## 論点② 国民目線で見えた日本の医療体制の問題点

事前アンケートから：

問2-6：行動規制を緩和したとき第6波は来るとおもいますか？

回答	回答数	割合
必ず来る	47	58.8%
来る	20	25.0%
来ない	0	0.0%
分からない	13	16.3%
無回答	0	0.0%
合計	80	

## 論点② 国民目線で見えた日本の医療体制の問題点

事前アンケートから：

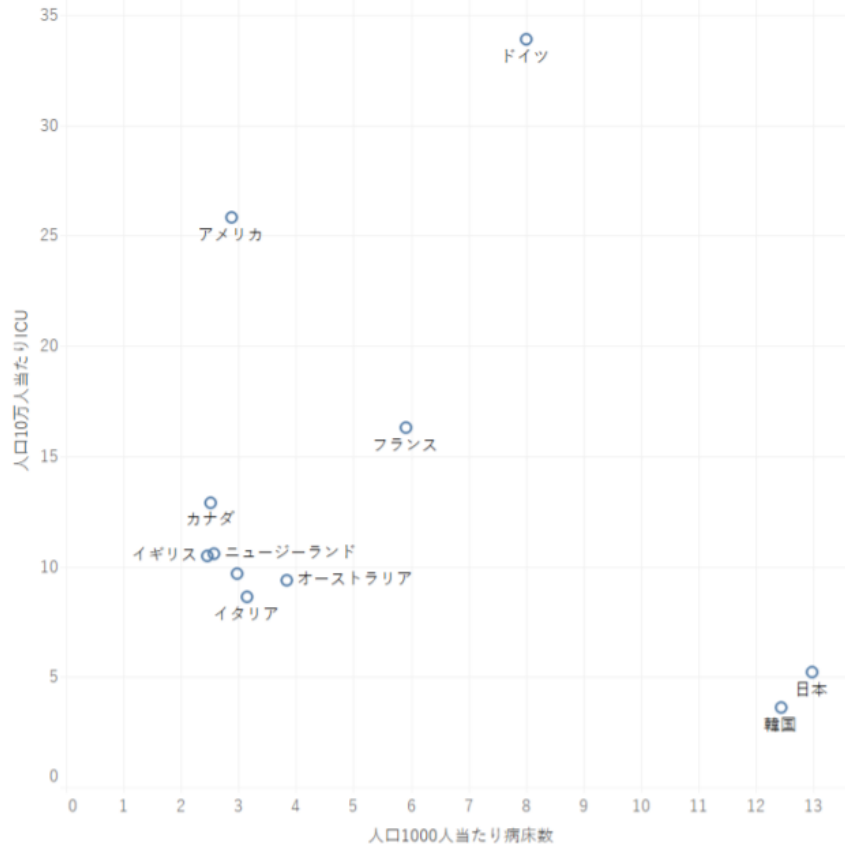
問2-7：第6波では何が一番怖いと思いますか？（複数回答可）

回答	回答数	割合
医療のひっ迫	55	24.9%
自宅療養者の増加	35	15.8%
経済の停滞	26	11.8%
低年齢層の感染	16	7.2%
教育現場の混乱	10	4.5%
新たな変異株の出現	46	20.8%
ブレイクスルー感染	26	11.8%
その他	7	3.2%
無回答	0	0.0%
合計	221	



## 日本のコロナ対策の特徴と課題

### ① ICU整備の問題

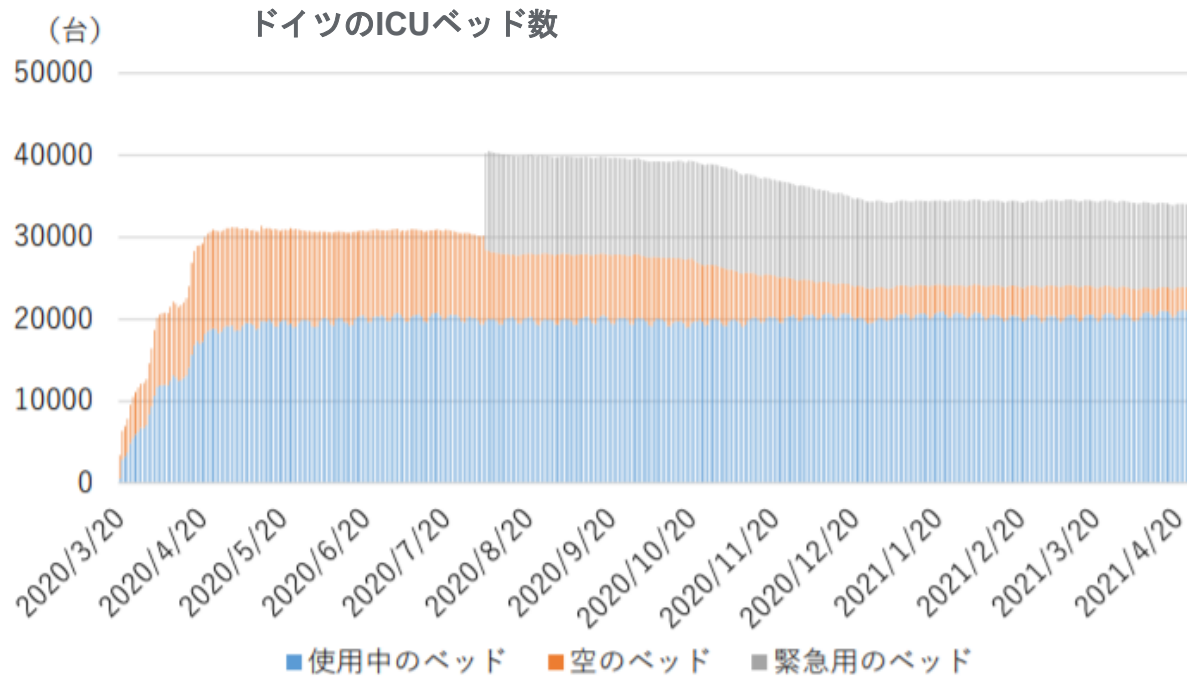


(出所) OECD (2020) "Beyond Containment: Health systems responses to COVID-19 in the OECD", "Health at a Glance (2019)"より NIRA 作成。

- ドイツ、アメリカでは病床数に占める ICU ベッド数が多いのに対し（OECD 統計では、ドイツ 8%、アメリカ 7%）、日本が 2%に過ぎないことから、重症者が増加するとすぐに逼迫することが予想される。
- 日本は人口 1000 人当たりの病床数が 13.0 床と多いにもかかわらず、ICU 病床数は人口 10 万人当たり 5.2 床と圧倒的に低い。
- ICU ベッド数の国際比較に関しては、諸外国との定義の違いから、日本は過少に評価されているという指摘がある。しかし、ICU と病棟の中間的な重症度の患者を対象としたハイケアユニット等を含めても、日本の人口 10 万人当たりの ICU ベッド数は厚生労働省算出データによれば、およそ 13.5 床であり、ドイツの 29.2 床の半分にも満たない。

### 日本のコロナ対策の特徴と課題

#### ② ICUに関する機動的な病床転換や地域間連携、病院間連携、医師の機動的配置



(出所) DIVI ホームページ"Intensivregister"より NIRA 作成。

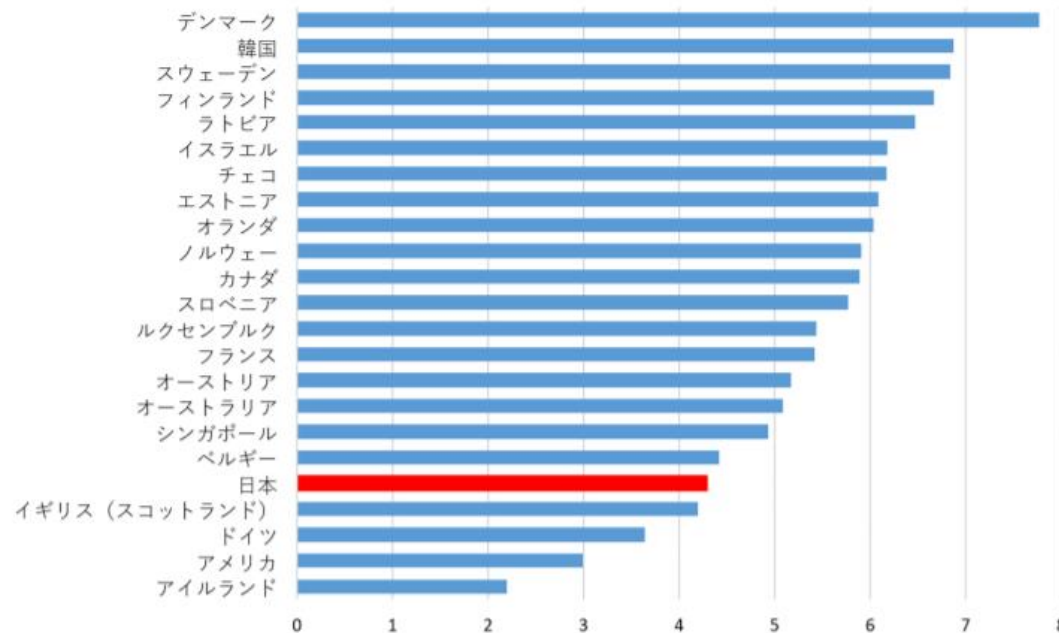
DIVI = ドイツ集中治療・救急医学会

- ドイツでは今回のコロナ感染症に対応するために緊急時の昨年8月以降1万台のICUを追加し、人口10万人当たり40床の水準まで病床転換、増設を進めている。ドイツでは医療従事者という側面から見ても、トレーニングを受けて機動的にICUに対応できる医師が多い。
- 医療態勢が逼迫する理由は、病院の運営主体の違いもある。日本では、民間病院比率は81.6%、民間病床数は71.3%（厚労省医療施設調査、令和元（2019）年）であり、例えばEUの民間病床比率33.9%（2014年）と比べ大きく異なる構造であることが影響している可能性がある。
- スウェーデンでは、国立病院が中心であり、「国が中央管理して、ICUの空きのない自治体があれば自治体の枠を超えて患者を搬送し、救急搬送も、各病院の病床の使用状況が時々刻々変化するので、国が中央管理し、どの病院に搬送するかを救急車に指示し」、緊急対応がスムーズにできた。一方、アメリカでは民間病院比率が高い（民間のうち非営利75%、営利15%）が、ICUの病床割合は高くなっている。

## 日本のコロナ対策の特徴と課題

### ③ 医療におけるIT化

#### 医療のIT化の状況



(注) 入院患者や救急医療など10の医療データセットや患者調査等を基に、医療データの入手可能性や即時性など8項目の観点でスコア化したもの。最大値は8。

(出所) Oderkirk, J. (2021), "Survey results: National health data infrastructure and governance" より NIRA 作成。

- 医療におけるIT化も、OECDの分析によればデンマーク、韓国、スウェーデンなどが圧倒的に高く、国際的に見て日本はドイツ、アメリカなどと並んで先進国の中では遅れている。

事前アンケートから：

問2-3：行動規制等を緩和する適正な時期は？（ひとつだけチェック）

回答	回答数	割合
ほとんどの希望者にワクチンが行き渡った後	61	76.3%
ワクチン接種率に拘らずなるべく早く	9	11.3%
その他	7	8.8%
無回答	3	3.8%
合計	80	

【その他の意見】

- 全ての国民にワクチンが直ぐに打てる環境が整った時。
- 希望者だけでなく、人口の8割以上。なおかつ医療逼迫が十分緩和されたら。
- 病床利用率低下。
- 一定のワクチン接種率に達した時。
- 新規感染者数が十分に減少した後。
- 治療薬ができてから。
- 非mRNA型ワクチン、経口摂取型抗ウイルス薬が認可され、使用された時。mRNA型ワクチンは危険性も副反応による身体へのダメージも検証を国が放棄している為信用に値しない。

## 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

### 事前アンケートから：

問2-1：緩和すべき行動規制等は何だと思えますか？（複数回答可）

回答	回答数	割合
マスクの着用	10	2.0%
イベント等の入場数・開催時間制限	37	7.4%
会食の入場制限	38	7.6%
飲食店での酒類の提供	47	9.4%
大型店舗等の営業時間	42	8.4%
カラオケ店の休業	33	6.6%
都道府県をまたぐ移動	60	12.0%
20時以降の不要不急の外出	39	7.8%
学校行事（修学旅行・運動会等）の開催自粛	62	12.4%
大学の対面授業の自粛	60	12.0%
入院患者・施設利用者の面会禁止	50	10.0%
テレワークなどによる通勤の自粛	19	3.8%
その他	2	0.4%
合計	499	

## 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

### 事前アンケートから：

問2-2：問2-1のうち、最も緩和すべきだと思うのは何ですか？（ひとつだけチェック）

回答	回答数	割合
マスクの着用	3	3.8%
イベント等の入場数・開催時間制限	4	5.0%
会食の入場制限	2	2.5%
飲食店での酒類の提供	11	13.8%
大型店舗等の営業時間	2	2.5%
カラオケ店の休業	1	1.3%
都道府県をまたぐ移動	17	21.3%
20時以降の不要不急の外出	2	2.5%
学校行事（修学旅行・運動会等）の開催自粛	22	27.5%
大学の対面授業の自粛	6	7.5%
入院患者・施設利用者の面会禁止	5	6.3%
テレワークなどによる通勤の自粛	1	1.3%
その他	1	1.3%
無回答	3	3.8%
合計	80	

事前アンケートから：

問2-4：行動規制等の緩和以外に必要な施策（アクセル）は？（複数回答可）

回答	回答数	割合
GOTOトラベル	32	27.1%
GOTOイート	25	21.2%
定額給付金	18	15.3%
給付型奨学金	25	21.2%
その他	14	11.9%
無回答	4	3.4%
合計	118	

【その他の意見】

- 規制緩和のみでよい。
- GOTOのような特定業者への利益誘導をしなくても、ワクチン検査パッケージでやれることを増やして、行動緩和を国民にしっかりメッセージとして伝えることが大事と思います。
- 行動規制緩和をすればそのルールの周知に注力し、税金を使う必要はない。
- 低所得の方、母子家庭などへの給付。
- 自治体によって事情が違う。国がいくつか提示するパッケージから自治体を選択できると良いと思う。
- アクセルが必要なのではなく規制への補償が必要。
- ワクチン接種確認アプリの作成や無料で検査できる仕組みづくり。

## 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

### 事前アンケートから：

問2-8：行動規制の緩和後において「必要な感染対策」等として最も重要な対策は何だと思えますか？（ひとつだけチェック）

回答	回答数	割合
マスクの着用	17	21.3%
三密の回避	8	10.0%
手洗いうがいの徹底	10	12.5%
3回目のワクチン接種	4	5.0%
特效薬の開発	32	40.0%
その他	7	8.8%
無回答	2	2.5%
合計	80	



## 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

### 事前アンケートから：

問2-9：第6波の到来などの場合、最も有効なブレーキは何だと思えますか？

(複数回答可)

回答	回答数	割合
マスクの着用	36	28.1%
イベント等の入場数・開催時間制限	0	0.0%
会食の入場制限	0	0.0%
飲食店での酒類の提供	14	10.9%
大型店舗等の営業時間	0	0.0%
カラオケ店の休業	9	7.0%
都道府県をまたぐ移動	20	15.6%
20時以降の不要不急の外出	5	3.9%
学校行事（修学旅行・運動会等）の開催自粛	5	3.9%
大学の対面授業の自粛	1	0.8%
入院患者・施設利用者の面会禁止	6	4.7%
テレワークなどによる通勤の自粛	18	14.1%
その他	13	10.2%
無回答	1	0.8%
合計	128	

### 事前アンケートから：

問2-10：再度の行動規制はこれまでのやり方でいいと思いますか？（複数回答可）

回答	回答数	割合
これまでと同じやり方でいい	18	14.1%
ロックダウンなど強硬な対策をとるべき	24	18.8%
法改正等による国の強制力に期待する	29	22.7%
都道府県の強制力に期待する	18	14.1%
その他	14	10.9%
無回答	1	0.8%
合計	104	

#### 【その他の意見】

- 国として、強力な対策を行えるような法整備をしたうえで、都道府県にできる範囲で決定権を与える。
- 法令による自治体への権限付与には強制力に限界があるので、各自治体による条例制定も視野に入れるべき。
- 第6波の原因が新たな変異株であるなど、感染力の強さや重篤になる率により考えるべき。
- 会食の回避と補償、家庭内感染の注意喚起。
- ダメージを受ける業界への保証の上の制限。
- 拘束力と保証がセットに法改正。
- ワクチン接種(出来る人が)しない場合、罰則を設ける。
- SNSを活用した新たな啓発。

## 論点③ Withコロナに向けての国民の期待と心配

### 事前アンケートから：

問2-11：アクセルとブレーキを切り替える基準は何が適切だと思いますか？

(複数回答可)

回答	回答数	割合
新規感染者数（人口10万人当たり）	28	21.9%
入院病床使用率・重症病床使用率	56	43.8%
療養者数（人口10万人当たり）	32	25.0%
ワクチン接種率	21	16.4%
その他	3	2.3%
無回答	3	2.3%
合計	143	